

ナンバリングルールの検討

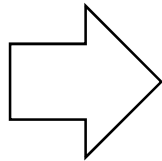
高速道路ナンバリングの検討の方向性

高速道路ナンバリングの検討については、大きく分けて2つの方向性があるのではないかと。

①高速道路の路線番号の付番に際し、国道番号も含め、全体で整合がとれたナンバリングシステムを構築する。

②国民になじみのある国道番号を所与とし、高速道路の路線番号は国道番号を参考に付番しつつ、一定の整合がとれたナンバリングシステムを構築する。

〔※2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、最小の時間で最大の効果を
目指し、受け入れやすい番号とする。〕



実現性の観点から、②を選んではどうか。

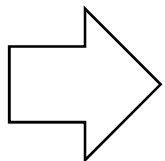
第1・2回高速道路ナンバリング検討委員会における主な意見

1. 高速道路ナンバリングの目標に関する意見

- ・実現することを最優先とする。
- ・ユーザフレンドリーで、わかりやすいことを重視する。
- ・数字の桁数を少なくし、シンプルにする。

2. 高速道路ナンバリングの方法に関する意見

- ・日本のユーザが使いやすい、なじみのある国道番号に近いものがよいのではないか。
- ・並行している国道と高速道路は、同じ路線番号として、代替性を表現してはどうか。
- ・国土観のある2桁までの国道番号に合わせることに配慮すべきではないか。
- ・国道1号などは、東名高速はE1号、新東名はE1S号というように、ファミリーとして位置づけてはどうか。
- ・NEXCO等の管理する高速道路と首都高等の都市高速は英字で区別し、案内に混乱が起きないようにしてはどうか。
- ・環状道路は、区別して表現すべきではないか。



「①シンプルでわかりやすく」、「②親しみ」の観点で、ナンバリングルールを定めてはどうか。

ナンバリングルールで基本とする事項(案)

今までの高速道路ナンバリング検討委員会における意見を踏まえ、主として、以下の事項を基本として、検討してはどうか。

①シンプルでわかりやすく

- ・原則2桁以内
- ・同一起終点など、機能が似ている路線のグループ(ファミリー)化
- ・道路種別や機能をアルファベットで表現

②親しみ

- ・地域でなじみがある、かつ、国土の根幹的な路線の既存の国道番号を活用